

授業概要

算数科の授業を行うために、指導者として必要な基礎的知識の理解を深めるとともに、算数科における指導方法及び技術、教材研究の手法、指導案の作成方法など具体的な算数科の教育法を習得させ、教育実践につながる能力や技術及び態度を育成することを目標に講義をする。毎回の授業では、指定された単元について内容や評価規準・基準などをまとめた予習ノートをもとにグループによるミーティングを行い、学習を深める。このような活動を通して、授業をどのようにして組み立て、構成するかを理解し、自分の考えをまとめる力、内容を理解する力、問題点を見付ける力を身につける。

授業計画

第 1 回	オリエンテーション・授業の方法や進め方、資料の使い方、算数科の目標について
第 2 回	授業記録の作成（授業 DVD を視聴しその記録を取る）
第 3 回	指導案の作成
第 4 回	授業作り、評価予習の方法、予習ノートの作成方法
第 5 回	A. 数と式・大きい数の計算を考えよう（3上）ミーティング
第 6 回	A. 数と式・大きい数の計算を考えよう（3上）ミーティング
第 7 回	A. 数と式・大きい数の計算を考えよう（3上）指導案作成
第 8 回	A. 数と式・小数のかけ算を考えよう（5上）ミーティング
第 9 回	A. 数と式・小数のわり算を考えよう（5上）ミーティング
第 10 回	A. 数と式・小数のわり算を考えよう（5上）指導案作成
第 11 回	C. 図形・四角形を調べよう（4上）ミーティング
第 12 回	C. 図形・四角形を調べよう（4上）ミーティング
第 13 回	C. 図形・四角形を調べよう（4上）指導案作成
第 14 回	模擬授業
第 15 回	模擬授業
第 16 回	定期試験

到達目標

- ・ 予習・復習の必要性を理解し、学習習慣を身につける。
- ・ 自分の考えをまとめる力、内容を理解する力、問題点を見付ける力を身につける。
- ・ 小学校算数科の目標を理解している。
- ・ 授業を構成し、指導案を作成することができる。

履修上の注意

- ・ 遅刻・欠席はミーティングの妨げになるので極力しない。
- ・ 20 分以内の遅刻は出席扱いとするが、減点する。20 分を超える遅刻は欠席とする。
- ・ 毎回の授業では、予習ノートに基づいてグループでミーティングを行うので、必ず予習をして授業に臨む。

予習復習

予習：第 1、3 回目の授業で説明する予習の方法に従って、予習ノートを作成する。
復習：第 1 回目の授業時に配布する「小学校算数科の内容と目標」の問題例、目標を記入する。

評価方法

予習・復習の状況、ミーティングにおける貢献度、指導案、授業記録、定期試験の結果を総合的に判断して評価を行う。

テキスト

文部科学省 2008,「小学校学習指導要領解説 算数編」, 東洋館出版社
「新しい算数 3 上、4 上、5 上」、東京書籍